

【考え・基礎知識】

市のゴミ処理事業や、地域の人々の協力、業者の取組等のごみの処理について調べ、模造紙にまとめて表現することができる。

【つながり】

自分達の分別等の取組は、市のごみ処理事業・ごみ対策への協力であり、市と市民、業者が協力して、健康な生活や良好な生活環境が守られていることを考える。

【応用・ひろがり】

ごみ処理の仕組や分別の大切さについて、根拠を持ってALTに伝え、自分達のできることについて考え、協力しようとする姿勢を持つ。

◇ 学年 第4学年

◇ 単元名 わたしたちのくらしとごみ

◇ 単元の目標 ごみや資源物の処理の仕方、働く人々について意欲的に調べ、地域の人々と関係機関が協力して人々の健康な生活や良好な生活環境を守っていることを理解するとともに、地域社会の一員として主体的にごみの処理に関する問題についての考えを持ち、関わろうとすることができる。

◇ 単元の計画 (全22時間)

学習活動	時数	指導上の留意事項
<p>課題の設定 (2)</p> <p>○ごみの処理について関心を持つ。</p> <p>・(総合的な学習の時間) ALTとの交流会で「日本に来て1番困ったこと」が「ごみの出し方」であることを知り、日本のごみの状況、ごみ処理の仕方について関心を持つ。</p> <p>・他国とごみの排出量等を比べ、日本がごみを大量に出していること(排出量が世界1位)、日本各地でごみ処理の問題を抱えていることを知り、「それだけのごみがどのように処理されているのか」、「自分たちの地域のごみ処理はどうなっているのか」という疑問を持ち、課題を設定する。</p> <p>課題 ごみはどのように処理されているのだろう。 ～なぜ、ごみを分別しないといけないのか説明しよう～</p>	<p>事前</p> <p>2</p>	<p>★ALTから「なぜ、日本はごみの出し方のルールがこんなに厳しいのか?」、「なぜ、分別をしなければならないのか?」という質問を受け、うまく答えられない経験をさせることで、「日本のごみの状況や、分別の大切さなどについて詳しく理解して、ALTに伝えたい」という気持ちを高める。日常から学習環境の美化の意識を高めておくとともに、交流会でALTとコミュニケーションをしっかりとらせ、児童にALTやその出身国等について興味を十分持たせることが必要である。そして、日本のごみ処理の仕方、分別の大切さについて、ALTに伝える会を再度設定することで、児童に学習する目的意識を持たせる。</p>
<p>情報の収集・整理・分析 (18)</p> <p>○調べる内容や方法を話し合い、追究の計画を立てる。</p> <p>○聞き取りや見学を通して、情報を集める。</p> <p>・市のごみの状況はどうなっているか。</p> <p>・誰がどのようにごみを収集しているか。</p> <p>・清掃工場や埋め立て処分場はどのような仕組になっているか。</p> <p>・回収された資源は、どのように再利用されているか。</p> <p>○調べて分かったことを上記の観点毎に班で模造紙にまとめて発表し、他の班からまとめ方の良い点、改善すべき点を聞く。</p> <p>○他の班の意見を参考に、模造紙にまとめたことを改善する。</p> <p>○分かったことを基に、次の点で話し合う。</p> <p>・「ごみはどのように処理されているのだろう」</p> <p>市が高い技術を持ったごみ処理場を建設し、分別、出し方等の決まりをつくっていたね。地域の皆が分別してごみ出しをしていたよ。見守り当番を決めている地域もあったね。資源ごみの回収等は業者も協力していたね。</p> <p><u>市のごみ処理事業に市民や業者が協力して、町がきれいに保たれているんだね。</u></p> <p>・「なぜ、分別をしないといけないのだろう」</p> <p>ごみ処理場の処理能力等に合わせて決められた分別をしないとごみ処理場の仕事が増えるね。分別しないと燃やした後に出る灰も増えると聞いたよ。再利用できる資源ごみを回収し、ごみを減らす目的もあったね。</p> <p><u>自分達のきれいな地域を守るには、決められた分別を守る責任があるね。</u></p> <p>○ALTに効果的に伝えるための内容、方法と、自分達のできることを考え、皆に伝え、行動する大切さに気付く。 (ごみ処理費用の増大、埋め立て地の不足、ごみの多様化による処理の難化等)</p> <p>○個人及びクラスで取り組むことを整理し、計画を立てる。</p>	<p>1</p> <p>9</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p>	<p>○どのような順序で、どこを見学し、どのように調べればいいのか、具体的に考え、調べる途中で必要に応じて計画を変更しながら追究することを確認する。</p> <p>○ごみ処理の流れを、児童の思考の流れで整理しながら、「市の取組」、「市民の協力」、「企業の取組」という3つの立場があることに気付かせる。</p> <p>○まとめた模造紙を掲示し、自分たちのまとめた資料を基に意見を比較・関連付け・総合等してまとめさせる。</p> <p>新たな課題へつなげる発問</p> <p>「分別の必要性以外に、伝えなければならないことはないかな?」と問うことで、調べる中で気付いたごみ処理のかかえる問題を想起させる。</p> <p>○各班がまとめた模造紙から、どの資料をどのように説明すればいいか、考えさせる。</p> <p>○ALTからの質問も受け付け、観点の担当班で回答させることで、より児童の理解を深める。</p>
<p>実行、振り返り (2)</p> <p>○ALTを招いて、説明発表会を開催する。</p> <p>○他に地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守る取組はないかを考え、新たな課題を見出す。</p>	<p>1</p> <p>1</p>	<p>○ALTからの質問も受け付け、観点の担当班で回答させることで、より児童の理解を深める。</p>

